

能登半島地震災害救援拠金 最終報告

2億1,540万円を被災県・市老連へ伝達

みなさまにご協力いただきました「能登半島地震災害救援拠金」は、最終的に2億1,540万円となりました。全国からのご協力に深く感謝申し上げます。

5県・市老連に対する配分は、第一次配分（1億3,000万円）も含み、別表のとおりとなります。

●救援拠金の配分について

救援金の配分は、被災を受けた富山県、石川県、福井県、新潟県、新潟市の老連代表者を交えた「能登半島地震災害支援会議」において、それぞれの現状報告をもとに決定しています。10月末に行われる最終伝達では、9月21～23日に石川県能登地方に甚大な災害をもたらした豪雨災害による被害も踏まえて決定されました。

救援拠金配分内訳

送金先	送金総額	第1次送金額	第2次送金額
富山県	21,930,000円	16,510,000円	5,420,000円
石川県	164,970,000円	92,040,000円	72,930,000円
福井県	690,000円	520,000円	170,000円
新潟県	6,910,000円	5,200,000円	1,710,000円
新潟市	20,900,000円	15,730,000円	5,170,000円
合計	2億1,540万円	1億3,000万円	8,540万円

●全老連の取り組み

- 1月15日 全国に「令和6年能登半島地震救援拠金」を呼びかけ。
- 1月18日 全老連古都賢一副会長と笹尾勝前常務理事が富山県老連、石川県老連を訪問。
- 2月1日 「都道府県・指定都市老連代表者会議」で被災地を代表して石川県老連須野原雄会長が状況を報告。／全老連女性委員が石川県釜谷匡子女性委員長と懇談。
- 5月21日 第1回「能登半島地震災害支援会議」（全老連・被災5県・市老連）を開催
- 5月29日 全老連理事会で石川県老連須野原雄会長が状況を報告。
- 5月31日 第一次取りまとめ分を被災老連に伝達（送金）。
- 6月17日 全老連村木厚子会長が石川県老連、輪島市老連を訪問。
- 6月20日 全老連評議員会で富山県老連麻島裕之会長、新潟県老連富沢哲会長が状況を報告。
- 10月2日 第2回「能登半島地震災害支援会議」（全老連・被災5県・市老連）を開催（文書審議）
- 10月31日 第二次（最終）取りまとめ分を被災老連に伝達（送金）。